代表質問

政和会（せいわかい）

質問者
沓澤（くつざわ） 正雄（まさお） 議員

・ほっと館の管理運営について
・緑風荘について
・安全・安心で良質な教育環境の整備と通学支援について
・教育委員会と学校・PTA・地域住民との関わりについて
・放課後児童健全育成事業について
・防犯対策について
・防災対策について
・湯沢駅周辺複合施設整備事業について
・地熱等の利活用促進について
・稲川スキー場周辺の樹木による修景について

湯沢市議会
ユーチューブチャンネル
代表質問の動画をご覧になれます。

質問 **ほっと館の利用時間について伺う。**

答弁 4月1日からの利用時間の変更に合わせ、看板の表示内容を変更する予定で準備を進めている。併せて施設玄関前や建物内、市ホームページも表示内容を変更する予定としている。また、休館日や利用時間の変更に係る周知については、今後、ほっと館に掲示するほか、市ホームページやSNS、広報でお知らせする。

質問 **緑風荘の施設改修について伺う。**

答弁 現在、老朽化した建物や設備の改修に向けた建物調査を実施しており、この結果を踏まえ、令和5年度にアスベストの事前調査、改修工事の実施設計など改修工事に向けた準備を進め、令和6年度に施設改修工事を行う計画としている。施設、設備の全面的な改修を予定しているため、工事期間中は臨時休館となるが、工事完了後、速やかに営業を再開したいと考えている。

質問 **冬期のスクールバス通学支援がスタートし、徒歩通学区間の不審者への不安の解消、保護者の送迎の負担軽減、見守り箇所の減少による支援の負担軽減など、さまざまな問題が解消、改善されている。この冬期の体制を本市のスクールバス運行のモデルとしていただきたく見解を伺う。**

答弁 八面地区は、稲川小学校までの通学距離が2キロメートル以上、4キロメートル以内であることから、市のスクールバス乗車対象基本方針に基づいて、冬期はスクールバス、夏期は徒歩通学の対象としている。これまでのところ、夏期の通学に当たり、配慮すべき個別の事情を承っておらず、夏期は、引き続き徒歩での通学をお願いする。

質問 **徒歩通学の際、八面地区の一部の児童の中には集団下校する相手がいないという状況を把握しているか伺う。**

答弁 八面地区以外の地域においても、下校途中から一緒に帰宅する相手がいなくなる状況も把握している。課題がある場合には、家庭の迎えや地域の方々の見守りを中心に、引き続き家庭、学校、行政、関係機関が連携して、安全・安心な登下校ができるように努めていく。

質問 **小・中学校のトイレについて、洋式トイレの設置状況と洋式化に向けた今後の整備計画について伺う。**

答弁 市内小・中学校に、洋式トイレが未整備の学校はない。平成28年から洋式化を進め、現在、小学校1校及び中学校1校が完全洋式となっている。

今後は、湯沢市学校施設の長寿命化計画に基づく大規模な改修に併せて洋式化を図っていくとともに、身体面において配慮が必要な児童・生徒に対応するためのバリアフリー化改修時に洋式化を図っていく。

冬期スクールバス通学の様子